**天草市柔道協会関係大会に係るコロナ感染対策ガイドライン**

天草市柔道協会

１.適用期間

本ガイドラインは、新型コロナウイルス感染症対策に係る熊本県リスクレベルが発令されている期間内に適用する。

２.適用条件

ガイドラインを原則とし、レベルや感染状況等に応じた詳細な対応が必要な場合は、大会申込案内書内に入場規定として明記し周知する。

３.大会中止要件

・熊本県リスクレベルが3以上、及び行政から行動制限がかかった場合。

・エントリーに基づき組み合わせを行った結果、大会が成り立たない等、中止が妥当であると理事会において判断した場合。

４.態度決定時期

大会中止の場合の決定は、大会当日の1週間前までに行い、速やかに関係者に周知する。

なお、開催決定後になされた行動制限の発令や、エントリーキャンセル続出で開催不能となるなどのガイドライン上の中止要件に該当する事態に至った場合は、早急に関係者に周知する。

５感染防止対策

５.1主催者（当協会）として行う対策

・参加団体に属しない協会役員等に対し、検温（37.５℃未満の確認）、マスクの着用・手指消毒の他、入場者名簿への記載を徹底させる。

・参加団体から感染対策の関係書類（検温確認表等）の提出を受け、参加条件を満たすことを確認する。

 ・試合場（１階）には、大会役員、監督（外部コーチ含む）、選手以外の入場は認めない。

・無観客等の対応については、大会ごとに感染状況を鑑みて入場規定を作成し、その内容を申込案内書にて公示する。

 ・選手は試合時のみマスクを外し、試合が終わるごとに手指消毒を行わせる。

・大会で使用する施設や用具については適宜消毒を行う。

・特に、試合場の畳については、試合の区切りを見計らい、適宜モップによる消毒を行う。

　　・ゴミ処理段階での感染を防止するため、すべてのゴミを各自の責任で持ち帰らせる。

　　・感染対策全般を主導し、参加団体に対する指示・管理・確認を行い、疑義ある場合は精査

のうえ、入場や出場を認めない。

・会場管理者への提出義務を有する感染対策関係の必要資料について、遅滞なく提出する。

５.2参加団体として行う対策

・代表者は検温確認表に基づき、大会前日前までに37.5℃以上の発熱が３～４日続いた日があったり、極度のせきや倦怠感などの症状がある者がいないかについての、選手の健康管理に努める。

・選手の参加については、必ず保護者の同意を受けておく。

・代表者は、各選手が健康状態や保護者の同意等の大会参加条件を満たしていることを確認したうえで、大会へのエントリーを行う。

・エントリー後から大会当日の間に、新型コロナウィルス感染症に関係する何らかの変更が生じた場合は、速やかに事務局に連絡する。

・代表者は大会当日の参加にあたり、選手の健康観察を行い、保護者を含む参加者全員の検温確認表等の関係書類を事務局へ提出する。

　　・代表者はすべての選手に、移動中やアップ、試合中以外の時間のマスクの着用、こまめな手洗い・手指消毒・うがいの励行、検温等の必要な対策事項についての指導を行う。

　　・ミーティングなどは密にならないよう配慮し、短時間で済ませる。

 ・保護者の応援が許可された場合は、入場者名簿の提出、適度な間隔を空けての観戦、大声を出さずに拍手での応援等の感染対策について、代表者から要請を行う。

６.関係者から感染者または濃厚接触者が発生した場合の対策

・大会前に関係者（選手・指導者・大会役員）から感染者または濃厚接触者が判明した場合

は、代表者は速やかに事務局へ連絡すること。必要に応じて理事会にて対応を協議する。

　　・大会の運営に何らかの変更が生じた場合は、事務局から速やかに各団体への周知を行う。

　　・大会当日に複数人が棄権し組み合せの公平性の確保が困難と認められるような場合は、審判監督会議に諮り、リーグ戦への移行も含めて組み直しをする等の、大会趣旨に即した大会運営に努める。

・大会後に関係者の感染が判明した場合にも、事務局より関係する各団体に対して連絡を行う。

但しその場合は、個人のプライバシーの保護について最大限配慮する。

**令和4年度　天草出張昇段審査 感染症拡大防止対策**

１．定義

本大会は、新型コロナウイルス感染拡大防止対策を行い、試合方式、入退場等に関して細心の注意をはらい運営する必要がある。

よって、ガイドライン、マニュアル、本大会申合せ事項を基準に密による感染拡大を予防する事とする

２．入場に関する事項

　（１）試合に関する事項

　　　〇個人戦

　　　　・各学年の試合毎に控え室に待機し、呼び出しがあるまで待機する。

　　　　・各階級試合前に試合場、審判席及び選手控え席の消毒を行う。

　　　　・選手は待機中もマスクを着用し、試合中のみ外すことができる。

　　　　・試合会場には消毒液を準備し、選手は試合が終わる毎に消毒を行う。

　　　〇審判員・補助員

　　　　・審判員は試合中、マスクを着用する。但し、主審についてはその限りではない。

　　　　・補助員はマスクを着用し、タイマー等は適宜に消毒を行う。

　（２）運営、試合場、観客席に関する事項

〇試合場への入場制限

・試合会場への入場は、下記の者のみの入場とする

選手

監督、コーチ（各所属に付き上限2名まで）→目印をつける

大会役員（審判員含む）

補助員

〇観客席への入場制限

・２階観客席は全柔連の基準に沿う形で、定員35名程度が基本となる。

・各所属から提出した名簿以外の応援者は、入場ができない。

・ロビー、通路、駐車場での待機はできる。

〇大会中止の決定基準に関して

・県内において緊急事態宣言等が発令された場合

・天草市内に置いて、大会関係者に感染リスクが高まると考えられるクラスター等が発生した場合

〇入場に関する基準

・下記の基準をすべて満たしている事

・当日に37.5℃以上の発熱が無い事、極度のせきや倦怠感の症状がないこと。

・名簿に記載された方でマスクを着用すること。